



初春のお慶びを 申し上げます



新年明けましておめでとうござい
す。平成23年の年頭にあたり、謹んで
新春のご挨拶を申し上げます。
町民の皆様におかれましては、平素
より須恵町および須恵町議会に対しま
して、格別のご理解とご協力を賜り、
衷心よりありがたく、厚く御礼申し上
げます。

ここ数年、我が国では社会全般が疲
弊し、政治は混乱を極め、経済は閉塞
状態に陥っています。
このような時代背景には、過去の歴
史が物語るように政治家の強いリー
ダーシップが求められます。
しかし、昨年は総理大臣の意気込み
とはうらはらに、無責任な法務大臣の
失言と辞任、政権政党にくすぶる内紛、
また普天間移設問題に端を発する、尖
閣諸島や北方領土問題における外交、
防衛対応の未熟さからの支持率の急激
な低下は、前政権末期と重なって映る
思いがします。
急場しのぎの政策を進めるあまり、
大局を見失って、中長期的な展望が見
えてこないのが、国民の将来に対する
不安が如実に不満となり吹き出して来
ています。
今、国民は何を望んでいるのでしょ
うか？10年先、20年先、50年先の子
孫の時代に安心して生活できる仕組み
作りだと思っています。
風雲急を告げ、政界再編が起こる様
相を呈しています。新しい方向性が見

憂外患であって政権の危機感が足りな
いと言われても仕方がないのかもしれ
ません。
国際社会においても、貿易立国たる
我が国にとって世界平和こそが国益そ
のものでありますが、日米同盟や安全
保障のあり方、中国の台頭・北朝鮮の
核ミサイル開発・ロシアの足元を見た
実効支配、さらには食糧自給率・エネ
ルギー問題、関税を撤廃するTPP加
盟問題など、いま日本は第三の転換期
を迎えています。
そこで日本の取るべき道・戦略はと
いうと、私欲に走らず公の精神で、主
張すべきは主張し、日本のよき伝統や
歴史を静観し、誇りを持ち国力をつけ
ることに尽きると思われます。
そして世のため人のために働く「人」
を育む教育を復活させることが、自国
を守ることに繋がると思われます。
平成23年が、そんなやさしい国家づ
くりの元年になることを祈念し、年頭
のあいさつといたします。
須恵町長 中嶋裕史

須恵町議会議長 藤石 豊



謹賀新年 年頭あいさつ



新しい年を迎えられ、初春の喜びを
申し上げます。
昨年は、デフレ・円高をはじめとす
る経済不況や、相次ぐ外交上の不手際
や失態によって、防衛・安全保障・領
有権問題など政府の弱腰に対する不信
感が高まり、今や、外交や安全保障は
現政権のアキレス腱となっています。
そんな中、昨年の須恵町におきまし
ては明るい元気の出る一年でした。

須恵町体育指導委員会が全国で表彰
され、消防団にあっては第21回福岡県
消防操法大会で自動車ポンプの部およ
び小型ポンプの部において、アベック
優勝するという大会史上初の快挙を揚
げ、11月12日(金)に愛知県で行われ
た全国大会でも第9位に入賞し優良賞
をいただきました。
また、コミュニティ事業もボラン
ティア派遣事業から発展解消し、各校
区の教育コミュニティも10周年という
節目を迎え、子どもたちの安心・安全
から高齢者の生きがいまで、新たなコ
ミュニティの醸成が進み、将来自治コ
ミュニティに発展することを期待して
います。
国におきましては、政権交代から1
年4か月が過ぎましたが、バラマキ4
K政策(高速道路・子ども手当・高校
無償化・戸別補償)を始めとするマニ
フェストも、政権交代の象徴でもあっ
た八ッ場ダム中止の撤回も簡単に旗を
降ろすという、なし崩しのな政権公約
撤回は政治不信につながり、まさに内

出せる年になればと期待しているところ
です。
一方、九州福岡に眼を向けますと、
まず九州新幹線の3月12日全線開通や、
未知数ではありますが福岡市の若い新
市長の誕生による、アジアの拠点都市
づくりを目指す、明るい展望が拓けよ
うとしているのも事実です。
そして、今年には統一地方選挙の年で
あり、私たちが暮らす須恵町でも例外
なく、それぞれの議員の評価と審判が
下されます。
地域に活かされている議会人として、
身近な町のことを考えるのが役割なら
ば、一心不乱真剣に新しい創造を組み
立てることを目標にしていきたいと思
います。
町民の皆様から、信頼と尊敬される
議会を目指し、努力邁進する所存です。
本年もなお一層のご指導、ご支援を
お願い申し上げます。

須恵町議会議長 藤石 豊